

事務事業名	木次健康温泉センター管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	産業施設グループ	課長名	安部昭彦
	施策名	(38)観光の振興	担当者名	舟木裕子	電話番号	0854-40-1093
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	(内線)	2422
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 1 1	観光施設管理事業 木次健康温泉センター管理事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 当事業は、木次健康温泉センター(おろち湯ったり館)の管理にかかる事業である。平成18年度からは、雲南都市開発㈱が指定管理者として管理運営を行っている。 指定管理者 雲南都市開発株式会社 指定管理期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日 (3年間)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)				30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)			
	ア 契約件数	件	14	23	23	7			
	イ 支払件数	件	17	26	26	9			
	ウ 修繕・工事費	千円	13,799	9,699	26,825	9,166			
	エ								

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	①市民 ②市外からの入込客	ア 日本的人口	千人	127,094	126,933	126,706	125,236
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		ウ 観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0
	①②利用できる。	ア 入湯者数	人	110,797	112,115	108,100	110,000
		イ 入湯料	千円	43,331	44,708	42,650	43,000
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【修繕費】6,737千円 【指定管理料】19,067千円 【賃借料】507千円 【工事請負費】20,088千円 【手数料】192千円 【委託料】2,106千円(指定管理を除く)	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			17,800	
	その他	千円	13,799	10,790	9,760	9,166
	一般財源	千円	19,230	18,853	21,137	20,105
	事業費計(A)	千円	33,029	29,643	48,697	29,271
	人件費	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	950	810	865	
	人件費計(B)	千円	3,718	3,213	3,527	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	36,747	32,856	52,224	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・温泉施設の衛生管理対策が厳しくなり、厳格な管理が必要となっている。 ・オープンから20周年を迎え、機器類の更新は進んだが、施設の老朽化に伴い大規模な修繕が必要となってきた。 ・平成26年度はチップボイラーを設置したが、故障など不具合がある。	・指定管理者である雲南都市開発㈱と連携をとり、施設改修等を行い集客力維持に努めている。 ・温泉ポンプ等機器類の更新は、ほぼ完了した。	・地元既存店より、宴会営業に関して民間営業の圧迫との声がある。 ・指定管理者より、昨年度閉館20周年を迎えたが、施設の老朽化が進んでいるため、露天風呂周囲目隠し板取替工事や屋上防水シート改修工事などの大規模な修繕要望がある。

事務事業名	木次健康温泉センター管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設の改修や新たなソフト施策により成果の向上(入浴客の増)は期待できる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	木次勤労者総合福祉センター管理事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由	隣接する木次勤労者総合福祉センターとは一体的に利用されることにより相乗効果がある。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	最低限で指定管理しているため、これ以上の削減余地はない。
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	指定管理者の修繕権限の見直しがあれば延べ業務時間は減らせる。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	基本的には一律に入浴料金を徴収し、ほぼ同様のサービスを提供している。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
平成23年度の風呂施設改修後は、一時的に利用客の増加となったものの、近隣に温泉施設がオープンし、多少影響があった。指定管理者による月1回の薬草湯はとも好評で平常時を上回る利用客があり、ソフト事業の充実が成果の向上に繋がる可能性がある。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>・平成26年度のバイオマス事業の導入によりチップボイラー、熱源ヒートポンプ、重油ボイラーと熱源が3系統となってから機器の不具合が発生している。そのため施設の人件費の増に繋がっており、経営を圧迫する要因となっている。</p> <p>・今後の課題として20年以上経過した施設の大規模修繕や、その後の改修・改築をどのようにしていくか検討する必要がある。</p> <p>・平成27年3月の中国横断自動車道尾道松江線全線開通による利用者をリピーターとすべく、施設の魅力や修繕など対策を行う必要がある。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						